

# コンパクトボールバルブ

## 検 査 証

最高使用圧力 1.0MPa(20℃)

ご使用前に、次の注意事項を必ずお読みの上、正しくお使い下さい。

### 〈配管時の注意事項〉



次の事項を無視して、取り扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定されます。

1. 使用可能な薬液の種類、製品仕様の使用圧力、液体温度が使用範囲にあるか“技術資料”又は“カタログ”で確認してからご使用下さい。誤った使用はバルブの破損そして人身事故につながります。



次の事項を無視して、取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみの発生が想定されます。

1. バルブに曲げ、引張り、衝撃等の外力が加わらないように取り付けて下さい。バルブの破損や漏れのおそれがあります。
2. スラリー又は結晶性物質を含んだ液体では使用しないで下さい。バルブの開閉動作が出来なくなるおそれがあります。
3. 接着剤は『日本水道協会規格品 (JWWAS101)』を使用して下さい。
4. 接着剤がバルブ内部にたれ込まないように注意して下さい。ボール等のシール部が損傷しシール不足や開閉動作が出来なくなるおそれがあります。
5. 接着後はすみやかに通風か通水を行ない、管内の接着剤のガス抜きをして下さい。ソルベントクラッキングによるバルブの破損や漏れのおそれがあります。
6. ねじ接合のシール材はシールテープを使用し、液状シール、床ペンキ等は絶対に使用しないで下さい。材質劣化によるバルブの破損や漏れのおそれがあります。

(裏面につづく)



**前澤化成工業株式会社**

- ねじ接合は必ず樹脂ねじ（バルブソケット）を使用して下さい。金属ねじとの接合は厳禁です。バルブが破損するおそれがあります。  
又、ねじ込み過ぎないように充分注意して下さい。バルブが破損するおそれがあります。

### 〈バルブ取り扱い時の注意事項〉



次の事項を無視して、取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみの発生が想定されます。

- バルブを分解しないで下さい。バルブの破損や漏れ等のおそれがあります。
- バルブを保管しておく場合は、次のことにご注意下さい。  
火気・高温な物体に近づけないで下さい。変形や破損等のおそれがあります。  
バルブを完全に開いた状態で箱に入れておいて下さい。シール部の損傷による漏れのおそれがあります。

その他、ご不明の点につきましては当社へお問い合わせ下さい。



**前澤化成工業株式会社**